

キックオフ



『いのちの授業』の感想文から

火曜日の5・6限目、『折れない心を育てるいのちの授業』を、講師の方をお招きして受講しました。中学1年生には少し難しいかな?と思っていましたが、感想文を読ませてもらうと、みんなそれぞれの学びがあったように思います。

他の人の感想を読むことで、また新たな学びがあるかもしれません。(そんな考え方もあるんだなあ)と自分の感想との違いを尊重しながら読んでください。

今日の話を聞いて、ぼくは困っている誰かの支えになろうと思いました。今自分の周りには何かに困っている人がいっぱいいます。そして自分も困っていることがあります。そんな時、誰か支えになってくれる人がいると、すごく気持ちが楽になると思うんです。なので困っている人がいたら、その人に寄り添ってあげて、支えになってあげたいと思いました。

相手が苦しんでいる時、まず相手の気持ちを理解してあげようとするのが大事だと分かりました。もしこの先、友達が何かに悩んでいたり苦しんでいたら、まずは相手の気持ちを理解しようと思います。また自分が苦しくなった時は、自分の支えになってくれる人を探していきたいと思います。

今日のこの授業で、つらいことや苦しかったことを書いたりすると、気持ちがすっきりしました。あと、動画を観て「自分の気持ちなんて分かってくれない」と私も感じたことがあったので共感できました。これから誰かが相談してくれた時、ちゃんとその話と向き合って、相談に乗ってあげようと思います。

今日の授業で、苦しみは経験になることが分かった。また、冷静に苦しみを2つのパターンに分けると、自分のためになることを学習できた。こういう機会がないと分からないこともあったので役に立った、道徳の授業でもこういうことを学べないし、教えてくれる人が違うと新鮮な気持ちになった。これから、もし苦しいことがあったら今日の授業を思い出したいし、友達が苦しんでいたら相手の気持ちに賛成したくなったりする。2時間の授業ありがとうございました。

ながつき
長月



9月

おとめ座

発行日：9月20日

発行者：1年学年主任 堀



妹が何か言っている時に
(この反復を)やってみようと思いました。これをやっている人はだいたいポジティブなのかなと思いました。これに気づいた人はすごいなと思いました。